

市町村建設計画「緑あふれる新県都プラン」

平成18年度実施計画

平成18年4月

秋田市

目次

計画の概要	2
章別計画	
第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち	3
第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち	7
第3章 安心して健康に過ごす助け合いのまち	10
第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち	12
第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち	13
進捗状況	15

計画の概要

1. 策定の趣旨

新市の特性を最大限に活かしつつ、市域全体の均衡ある発展と速やかな一体性の確保と市民生活のさらなる向上をはかり、「しあわせ実感 緑の健康文化都市」を実現していくため、「緑あふれる新県都プラン」に示された施策を構成する個別の事業をまとめ、これを示すものです。

2. 計画の期間

本計画の期間は平成17年度から平成27年度までの11年間とし、前期6年(平成17年度～平成22年度)、後期5年(平成23年度～平成27年度)に区分していません。

3. 計画の構成と対象事業

「緑あふれる新県都プラン」の章・節ごとに、市が実施主体となっていく事業や市が費用負担・補助を行う政策的事業を掲載しています。

今回は、同プランに掲載する119事業のうち、18年度当初に予算化された62事業について掲載しています。

4. 計画の実効性と弾力性の確保

計画の推進にあたっては、社会経済状況や市民の行政需要、財政状況等の変化に適切に対応しながら進行管理を行い、計画の実効性と弾力性を確保することが必要です。このため、本計画は毎年度の事業計画(予算編成)を踏まえて改訂を行っていきます。

章別計画

- 第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち
- 第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち
- 第3章 安心して健康にすごす助け合いのまち
- 第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち
- 第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち

第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまち

4,860,900

第2節 交通体系の整備

秋田都市圏総合都市交通体系調査負担金	合併及び幹線道路等の整備により、秋田都市圏の交通需要や地域間の結びつき、土地利用、都市施設等との関係に大きな変化が生じると予測されることから、都市交通の実態調査を実施し、新市交通網マスタープランを含めた総合的な都市交通計画を策定する。この計画に基づき、新市における新たな都市計画道路の決定や長期未着手路線の見直しを行う。	交通実態の分析、問題課題の抽出、将来交通需要推計	8,000
バス交通総合改善事業	「秋田市の公共交通(バス)に関する基本方針」に基づき、本市に適した公共交通体系の具体化について検討・改善し、市民・事業者等との連携・役割分担のもと、少子高齢化にも対応した市民の移動手段の確保と充実をはかる。	委託運行負担金/堀内・小友・下新城線の委託運行の開始/南部地区における利用実態調査	31,648
地方バス路線維持対策経費	輸送人員の減少により、運行維持が困難となっている赤字路線について、国、県、市の要綱に基づき、バス事業者に対し、補助を行う。	交通局 : 719 中央交通 : 367,818	368,537

第3節 道路網の整備

街路事業 土崎駅前線	JR土崎駅の交通結節点としての機能を十分に発揮させるとともに、鉄道交通の利便性向上をはかるため、駅前周辺の狭隘な道路を拡幅整備する。(土崎駅前線L=348mW=18m 駅前広場A=4,500㎡ H14~)	用地取得、補償、街路築造工事	463,450
幹線道路整備事業 飯島金足線	市中心部の交通渋滞緩和と地域間の速達性向上、さらに本市北部地域と河辺・雄和地域とのアクセス性向上のため、市街地外縁部を南北に縦断する骨格道路として飯島金足線を整備する。(L=3,200m、W=24.0m H8~)	飯島工区：道路築造工	128,600

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
幹線道路整備事業 南部中央線	国道7号及び13号の交通負荷を軽減し交通渋滞を緩和するとともに、河辺・雄和地域と本市南西地区を経由して市中心部とを結ぶ幹線道路として南部中央線を整備する。(L=2,200m、W=20.0m H11～建設計画としてはH17～茨島工区L=750m分のみ)	JR横断部委託工事(H18-20)道路築造工事	498,950
道路改良事業 和田松測線	和田駅南口から七曲臨空港工業団地、秋田空港方面への利用者増加に伴い、道路の拡幅改良を進める。	工事 L=480m	66,500
県施行合併支援関係道路整備事業負担金	合併支援に資する県施行の街路事業に対する負担金を支払う。	秋田中央道路、川尻広面線、千秋広面線、新屋土崎線、秋田駅東中央線	759,600
第4節 市街地の開発整備			
秋田駅東第三地区土地区画整理事業	秋田駅の東側玄関口としてふさわしい街並みを形成するため、道路・公園等の都市基盤の整備と宅地の整理を行い、健全な市街地の形成をはかる。(地区面積45.5ha/事業施行期間 H5年度～/都市計画道路8路線 L=2,874m/公園整備7箇所A=14,150m ² /区画道路100路線L=10,967m/建物移転1,097戸/特殊道路12路線L=428m)	都市計画道路1路線の各一部/区画道路5路線の一部/建物移転補償費24件/用地取得1式	1,310,000
秋田駅西北地区土地区画整理事業	本地区は駅前地区でありながら、商・住等が混在する低密度の土地利用となっている。このため、本事業によって道路・公園等の都市基盤施設の整備と敷地の整序を行い、駅東西間の一体化をはかるとともに、駅周辺にふさわしい良好かつ健全な市街地の形成をはかる。(地区面積5.8ha/事業施行期間 H6年度～/都市計画道路3路線L=821m/公園整備1箇所A=1,736m ² /区画道路11路線L=914m/建物移転63戸/特殊道路1路線L=37m)	都市計画道路1路線の一部/建物移転補償3件	207,000
中心市街地開発推進経費	市街地再開発事業等の推進をはかるため、国の制度の有効活用や公共公益施設の整備に関する調査を行い、整備方策づくりを行う。	事業推進経費を計上(都市再生整備計画作成、費用対効果分析)	6,000

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
秋田駅東拠点地区土地区画整理事業	秋田駅周辺地区まちづくり総合支援事業の整備計画に基づき、都市機能の受皿となる基盤整備を行う。(地区面積 A=10.3ha 権利者数 56名 建物移転 17戸 東口駅前広場 A=9,996.68㎡ 都市計画道路 4路線 L=1,065m 区画道路9路線L=893m 特殊道路2路線 L=158m 公園2ヶ所)	清算金徴収および交付事務、収用委員会関係事務	22,760
秋田駅東西歩道橋(Weロード) 西側昇降口等整備事業	Weロードの自転車通行を可能とするため、西側昇降口等の整備工事を行う。	Weロード西側昇降口等整備工事・用地購入	134,632
第5節 住宅環境の整備			
秋田市住宅マスタープラン推進事業等	「快適体感 しあわせ住まいづくり」を基本目標に掲げ、住宅のバリアフリー化、防災に配慮した住宅市街地の形成、良質な住宅ストックの形成、まちなか居住および雪との共生の5つを重点テーマにした施策の推進と施策を支える情報の提供を行う。	住宅のバリアフリー・防災化の促進、住情報の提供	605
第6節 上・下水道の整備			
公共下水道管渠建設事業(河辺地域)	汚水管整備を進め、水洗化の普及拡大をはかる。(H17年度～総事業費1,797,000千円・汚水面整備諸井、豊成地区他 A=53ha 事業費は管渠建設事業費の内数)	汚水面整備(豊成地区他) 8ha	297,000
岩見三内地区統合簡易水道事業	将来にわたり安全な水の安定供給が可能となるよう、河辺岩見三内地区にある老朽化した5つの簡易水道を一つに整理統合する。	配水管布設 50～150 L=4,065m 浄水場集中監視装置設置 他	200,850
河辺地域石綿セメント管更新事業	河辺地区に残存している石綿セメント管を更新することにより、同地区の安定給水を確保する。配水管布設替 200 L=3,044m	配水管布設替 200 L=1,544m	108,100
河辺地域浄水場施設改良事業	和田、松淵、俄沢の各浄水場の施設整備を行う。	和田、俄沢浄水場浄水pH計設置 松淵浄水場ろ過水高感度濁度計設置	7,900

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
南雄和簡易水道整備事業	南雄和簡易水道施設において、残留塩素計設置、清水木浄水場集中監視装置設置などの施設整備を行う。	清水木浄水場残留塩素計設置	1,100
雄和地区浄水場施設改良事業	雄和浄水場において、水質計器設置、浄水場・兼用受水槽等のフェンス設置等の整備を行う。	雄和浄水場水質計器設置 兼用受水槽等フェンス整備	10,950
第7節 都市緑化の推進			
北野田公園(仮称)整備事業	市民のスポーツ・レクリエーションや憩いの場として整備するとともに、併せて、平成19年秋田わか杉国体の硬式テニス競技会場としての活用をはかるため、北野田公園を整備する。(A=5.6ha 総事業費1,773,654千円 アリーナ(屋内2面)、屋外8面コート(砂入り人工芝)、クラブハウス、緑地広場ほか)	緑地広場A = 5,555㎡、東屋・遊具一式、各種サイン一式	101,500
第8節 環境の保全と新エネルギーの活用			
自然環境保全経費	秋田市自然環境保全条例に基づき、市民等との協働の推進や自然環境保全地区の指定および開発行為等への指導、助言により、自然環境を保全・回復・創出していく。	河辺・雄和両地域の自然環境現況調査の手法検討、自然環境保全地区の指定に向けた調査等、市民活動計画の推進、条例規定業務の遂行等	1,420
第9節 資源循環システムの充実			
不法投棄未然防止強化対策事業	廃棄物の不法投棄に対応するため、投棄者や排出事業者責任等の調査・追求を行う。また、不法投棄が繰り返される場所には、監視カメラ・告知看板等を設置し、不法投棄の未然防止をはかる。さらに、河川管理者、道路管理者等の関連機関で、連絡会等を開催し、調査・回収や防止策についての情報交換等を行う。	監視カメラ等を設置する。 関係機関との連絡会等を開催する。	2,065

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
家庭系ごみ分別推進事業(ごみ分別井戸端会議)	各地域で対話形式による分別指導を行う。また、ごみの減量・リサイクルについて優れた取り組み事例を紹介しながら市民と意見交換を行う。	各地域の市民団体を対象に、対話形式によるごみの分別指導等(ごみ分別井戸端会議)を行う。	400
第10節 高度情報化への対応			
固定資産税地理情報システム構築事業	航空写真撮影を行い、地番現況図・家屋現況図・地目現況図等の各種図面をデータベース化する。	地番現況図作成	67,968
公共施設案内予約システム再構築事業	公共施設案内予約システムについて、河辺・雄和地域の施設を対象とし、かつ操作性を向上させるため、システムの再構築を行う。	移行経費、システム導入経費、サービス利用料	16,512
合併関連コンピュータネットワーク整備事業	河辺・雄和地域の施設との接続にあたって適切な速度で稼働する行政情報ネットワークを整備する。	機器リース支払等	38,853
第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまち			1,003,670

第1節 商業・サービス業の振興

ハートぴあ秋田(産業フェア)事業	新秋田市の産業振興をはかるため、産業フェアを開催し、企業の交流や連携を進め、地元企業の創業・成長発展を促進する。(H17～H19、土日の2日間にわたって開催。3年間の継続効果があるよう、各年度のテーマを設定する) ハートぴあ＝「ハート」と「ユートピア」の造語、ハート(心)をかよわし、ユートピア(理想的な社会)である秋田を創造する。	ハートぴあ秋田を開催。テーマ：「連携・創造」秋田ブランド、特許商品等の展示、市民参加による新商品等の試作、アイデアコンテストなど	2,400
------------------	--	--	-------

第2節 貿易の振興

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
対岸経済交流事業	「秋田市貿易振興ビジョン2004」に基づく対岸経済交流の推進を目的に、新市誕生を契機とした陸・海・空の物流基盤の活用を探りながら、秋田ブランドの発信や新たな販路拡大をめざす物流可能性調査などを実施し、新市における市内企業の国際化と貿易の促進をはかる。	海外見本市への参加、船会社へのポートセールスによる航路誘致	1,444
第3節 工業の振興			
地域シーズ発掘活用事業	地域において有望な事業シーズを持ちつつも、事業の安定・成長を促進するため、経営手法などに指導・支援が必要と考えている事業者を公募により1者選考し、公募により選考した支援サポーターの手により事業者に対する支援プログラムの立案、プログラム実行時のフォローアップを行い、新たな地場産業としての定着と産業振興をはかる。	・17年度作成した支援プログラムの実行とフォローアップ ・新たなチャレンジャーおよびサポーターの公募と支援プログラムの作成	2,000
第6節 観光・コンベンションの振興			
岩見温泉整備事業	老朽化した岩見温泉を、観光客の立ち寄り湯として、また地域住民の保養の場として整備する。平成17年度は外部塗装等工事(外壁塗装等)、18年度は大規模改修、全面改築を見据えた必要最小限の空調工事を予定。	空調工事	6,000
第7節 農林水産業の振興と市場流通システムの整備			
下北手中央農業集落排水事業	下北手中央地区農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	管路工L=417m、処理施設：土木・建築、機械・電気	348,900
土地利用型農業生産振興事業	基幹作物である水稻・大豆等の生産技術向上と担い手農家による集団的取組の推進および、地域農業の生産コスト低減をはかるための基幹施設・生産機械の計画的導入に対する助成を行う。	田植機1台導入	900

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
金足農業集落排水事業	金足地区農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。管路延長L=24,200m、処理施設一式	調査設計	4,000
秋田市農林水産業振興戦略会議運営経費	「秋田市農林水産業振興戦略会議」において「秋田市農林水産業・農村振興基本計画」を策定し、計画の推進について審議・提言を行う。	戦略会議を開催し、「農林業・農村振興基本計画」の推進について審議・提言を行う。	284
岩見農業集落排水事業	河辺岩見農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	管路工L=2,830m、処理施設：機械・電気	277,500
農道整備事業(河辺)	農道網の幹線的な農道を整備し、農業生産の近代化と農村の生活環境の改善をはかる。	河辺田尻：改良工事 河辺畑：改良工事	78,550
県営ため池等整備事業	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。(市負担金:7.5～20%)	ため池：上北手猿田沢地区用排水施設：仁井田堰	29,625
県営経営体育成基盤整備事業	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。(市負担金12.5～15%)	下新城西部、河辺大沢、河辺赤平、雄和芝野東部、雄和種沢、雄和新波、雄和女米木、雄和銅屋、雄和左手子	182,550
浄化槽整備推進事業	公共下水道および農業集落排水などの集合処理区域以外の個別処理区域を対象に、市が設置し維持管理まで行う浄化槽事業を実施し、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全をはかる。平成18年度は、現況調査を実施し基本計画を策定、19年度から27年度まで、農業集落排水事業から整備手法を変更した神ヶ村・繋地区および鷺養地区を含め、およそ900基を整備する計画。	事業計画調査(雄和、河辺地区)	4,300
スーパー農園整備事業(雄和)	市民や都市住民などの多様なニーズに対応した区画・設備等を備えた質・量ともにグレードの高い市民農園を雄和椿台地区に整備し、この市民農園を核としながら農林業・農村地域の多様な資源を活かしつつ、グリーンツーリズムや農園活用生活スタイルの定着をはかる。	農園整備(敷地面積2.4ha、総区画数141区画、区画面積50㎡)	65,217

第3章 安心して健康にすごす助け合いのまち

214,309

第1節 地域福祉の推進

地域福祉計画推進経費	地域福祉計画は、本市の保健福祉長期計画「けやきのまちなしあわせプラン」の上位計画であり、地域福祉の推進によって、「公・共・私の責任と役割分担」をしながら、支え合い助け合いの社会の実現をめざす。	地域福祉推進事業（ワークショップ）の実施	510
けやきのまちなしあわせプラン推進事業[障害者プラン推進経費]	障害者プランに基づき、障害をもつ人も障害をもたない人も、分け隔てなく地域において互いに助け合いながら、やすらぎと生きがいのある充実した生活を送れる環境づくりをめざす。	プランの見直し	2,977
けやきのまちなしあわせプラン推進事業[高齢者プラン推進経費]	高齢者プランに基づき、高齢者が安心して暮らすことができる公・共・私の取り組みを進めるとともに、地域において高齢者の実態に応じたサービスを受けることができるよう、提供体制の整備を推進する。	高齢者プランに基づく各種施策を推進する	1,155

第3節 障害者保健・福祉の充実

身体・知的障害者交通費補助事業	身体・知的障害者(児)の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障害者の通院時タクシー代の一部を助成する。	・在宅の障害者が利用するバス代を補助する ・重度障害者が通院に利用するタクシー代を助成する	131,117
精神障害者交通費補助事業	精神障害者の継続的な通院と生活基盤の安定をはかるため、通院や通所する際に市内路線バスを利用する精神障害者保健福祉手帳所持者を対象に、福祉特別乗車証を発行し、バス料金を無料化する。また、小規模作業所や職親訓練事業所へ通所する際に上記のバス無料化事業の対象とならない交通費を要する者に対し、これを補助する。	・バス無料化事業対象者数見込：536人 ・作業所等通所交通費補助事業対象者数見込：2人	10,123

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
第5節 保健体制の充実			
健康増進情報システム関係経費	健康増進情報システムに乳幼児健診、予防接種、健康診査等の受診結果等を入力し、個人データの経年的管理や各種集計を行う。また、健康情報を一元管理することにより、歯周疾患検診や骨粗鬆症検診の受診対象者、胃がん検診の未受診者を抽出し、受診勧奨に活用するほか、基本健康診査の結果から、貧血や糖尿病、肥満等の各予防教室の対象者を抽出するなど、健診の事後指導に活用する。	・システムを活用し、地域住民の健康状況を経年的に把握し、保健指導の充実をはかるとともに、疾病の予防をはかる ・システムの維持管理 ・システムの修正および構築 ・次期システムの検討	13,693
健康あきた市21計画推進経費	広報、マスメディアおよびホームページ等を活用した啓発活動に努めるとともに、健康づくり運動を市民運動として定着させるため、健康づくりに関する情報提供や健康フォーラムの開催等により、市民の健康づくりに対する意識の醸成をはかる。	・「健康づくりフォーラム」開催等の健康づくり運動啓発事業の実施 ・計画の評価や見直しに向けた準備	1,973
第6節 衛生体制の充実			
河辺墓地改修事業	墓地を安全に利用できるよう改修工事を実施する。	墓地改修工事（一部墓域を除く、階段工、排水工、擁壁工、区画再編工、管理道路工）	40,231
第7節 医療・救急体制の充実			
救急業務高度化推進事業(河辺・雄和)	救急需要の大幅な増加を踏まえ、高規格救急車の新規導入・更新と救急救命士等の養成を計画的に推進するとともに、救急資機材等の整備充実に努め、さらに応急手当の普及啓発事業を促進する。	救急隊員1名を養成する。	75
第9節 消防力と防災体制の強化			

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
消防水利整備事業(河辺・雄和)	消火栓の新設、移設と防火水槽の新設、修繕を行い、計画的に充足をめざす。	河辺地区の上水道本管の敷設に伴い消火栓の新設と旧管に設置された消火栓を撤去する。消火栓の新設31基、撤去23基	12,455

第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまち

382,053

第1節 学校教育の充実

小・中学校増改築等事業(河辺)	老朽化が著しい校舎、体育館の改築を行うとともに、児童・生徒数に応じた適切な学校規模の確保をはかる。	岩見三内小(校舎・屋体)についてプロポーザル方式により設計業者を決定	255
小・中学校大規模改造事業(河辺)	経年により通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧とともに、諸室の再配置等の大規模改造を行い、教育環境の改善をはかる。あわせて建物の耐震性および耐久性の確保をはかる。	戸島小の大規模改造	232,053
小・中学校大規模改造事業(雄和)	経年により通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧とともに、諸室の再配置等の大規模改造を行い、教育環境の改善をはかる。あわせて建物の耐震性および耐久性の確保をはかる。	旧大正寺中学校の改修	121,157
小・中学校情報教育環境整備事業(雄和)	雄和地域における小中学校の情報教育環境を改善するため、教育用コンピュータ等を更新する。	川添小等4小学校で58台を更新、導入コンピュータ継続使用	6,972
小・中学校情報教育環境整備事業(河辺)	河辺地域の小中学校の情報教育環境を旧秋田市の小中学校に統一し、機器のリース期間終了後、順次更新する。	岩見三内小等3小学校62台を更新	20,159

第5節 市民文化の振興

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
民俗資料館等整備事業	雄和・河辺地域の民俗関係資料館等の施設設備を整備するとともに、文化財各部門の資料を収蔵するために共用収蔵施設の整備を検討する。	ふるさとセンター維持管理	1,457

第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまち

643,504

第6節 行政改革の推進と行政能力の強化

電子入札運営事業	入札制度の公平性、透明性の向上をはかるため、平成16年度に導入した電子入札システムを運用する。電子入札においては、インターネット上で入札情報の提供や指名業者への通知、業者の入札書の提出や業者登録の申請等を行うとともに、入札結果を自動的に開札し公表する。	電子入札システムの安定的運用をはかる	28,689
河辺市民センター等改修事業	河辺市民センターの空きスペースの有効活用や河辺多目的総合センターおよび河辺総合福祉交流センターの機能向上をはかるため、活用方策の総合的な検討を行い施設整備を実施する。	実施設計、施設改修	200,900
雄和市民センター等改修事業	雄和市民センターの空きスペースの有効活用や雄和図書館、雄和農村環境改善センターの機能向上をはかるため、活用方策の総合的な検討を行い施設整備を実施する。	実施設計、施設改修	346,000
緑あふれるまちづくり基金積立金	合併後の本市における市民の連携の強化および地域振興のため、当該基金を平成17年度に造成する。H18年度以降は運用益を積み立てる。	運用益の積立	800
(仮称)西部地域市民サービスセンター整備事業	市民協働および都市内地域分権の拠点として、市内7地域に整備する(仮称)市民サービスセンターの一つである(仮称)西部地域市民サービスセンターを整備する。	実施設計、地質調査、地元調整経費等	60,800

事業名	全体事業概要	18年度事業概要	H18当初予算 (単位:千円)
新秋田市総合計画策定経費	計画的かつ効率的な市政運営のため、市民ニーズの把握と行政評価による客観的・合理的な施策の選択を基本として、おおむね5年ごとに秋田市総合計画を改定する。平成17年度に実施した「秋田市しあわせづくり市民意識調査」の結果等を踏まえ、18年度に新総合計画を策定する。	新総合計画の策定	6,315
			7,104,436

進捗状況

	事業数	事業費
「緑あふれる新県都プラン」に 掲載する主要事業	119	950億円(1)
18年度実施事業 (再掲：河辺地域関係事業) (再掲：雄和地域関係事業)	62 (15) (7)	71億 443万6千円 (16億4,995万3千円) (5億5,285万3千円)
参考 17年度実施事業(うち終了事業5)	57	103億1,386万9千円

1 「緑あふれる新県都プラン」策定時の財政計画における平成17年度～27年度の事業費合計金額であり、各年度の事業計画の決定状況によって変動します。

18年度末現在の進捗状況は、事業数ベースでの着手率は56%、事業費ベースでは18%になります(いずれも参考値です)。